

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。

薩摩郡医師会在宅医療推進支援室だより

ひまわり

第23号 令和元年9月
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

平成31年度第2回さつまるネット研修会 事例検討会「独居高齢者の在宅支援」(7/23)



第2回さつまるネット研修会は、「独居高齢者の在宅支援」のテーマで薩摩川内市地域包括支援センターグループ長の土元様より事例発表して頂きました。慢性肺疾患にて在宅酸素療法を行っておられ、多くの問題をかかえておられました。定期受診されていなかった医療機関の受診調整、金銭管理、税金や健康保険、介護保険料の未払いに対する調整、地域住民の方々との話し合いなど、在宅での療養生活の支援体制をつくられた経緯を紹介して頂きました。同様の事例は近年増えてきているようです。グループワークでは「もう少し工夫が必要な点」に対し「年間に何度も救急通報を行っていたのなら、もう少し早い段階で誰かが気づき支援することができなかつたらどうか。遅れたことで妻の負担が大きくなってしまった。」などの意見がありました。また「Kさんのような対象者に対して、初動時に各関係機関の皆さんで、まず出来ることや取り組みそうなことはないでしょうか？」に対し「連携シートなどの整備と活用」「ACPIの確認」などのご意見がありました。「地域の方の協力が得られたことは大きい」などのご意見も多く聞かれました。31名の方にご参加頂きました。

令和元年度：救急医療町民講座 テーマ：「高齢社会における救急医療と在宅医療」(9/7)



令和元年9月7日宮之城ひまわり館に於いて救急医療町民講座が開催されました。今回は、在宅医療推進事業との共同開催となり、「高齢社会における救急医療と在宅医療」のテーマで松下事業運営委員長と救急担当理事の益崎先生の両先生が座長を務められました。医師の立場からは益崎隆雄先生、行政からは高齢者支援課の出水課長補佐、消防本部から西係長、在宅医療相談支援センターとして小丸、歯科医師の立場から福岡宏士先生、薬剤師の立場から岩元暢秀先生、計6名の皆様に発表して頂きました。発表後、参加者の皆様からのご質問やご意見を伺いました。緊急時の医療連携シート等についてのご質問を頂き、緊急連絡票と共に今後「あんしんカプセル」の設置に取り組んでいくことを説明し、ご協力をお願いすることができました。講演終了後は、AEDの指導が消防隊員より行われました。参加者は関係者含めて約100名でした。

令和元年度第1回 川薩地区在宅医療推進 リーダー会議(7/16)



リーダー会議では、事前に各団体や協議会にACPIに関する事、介護サービスにおける困り事、在宅医療に関する困り事などについて聞き取りを行い、その結果をもとに意見交換を行いました。また、在宅医療提供状況調査と併せて高齢者施設における看取り等の現状調査について協議し、障害者施設における看取り調査も行う方向で準備していくこととなりました。

病院連携室訪問 (6/6, 7)



川内市医師会在宅医療支援センターと共に、南九州病院(始良市)、霧島市立医師会医療センター、いちき串木野市医師会立脳神経外科センター、博悠会温泉病院(日置市)の地域医療連携室を訪問致しました。退院支援等で協力して頂けるとの事でした。

《センターより》



在宅医療連携シートは「あんしん医療連携シート」に名称が変わります。保管容器も同じく変わる予定です。詳しくは、センターにお問い合わせください。

入来町のふれあいサロンで お話しさせて頂きました(8/26)



サロン担当の方のご自宅で開催されました。まずクイズと頭の体操を行いました。その後、マイライフノートについて説明と併せて記載も行って頂きました。当日は大雨が降りましたが、90歳代の方3名を含む12名の方が参加されました。終始笑い声の絶えない楽しい時間でした。

平成31年度第2回 薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会(8/28)



今回は、相談支援事業所さつまるの久保所長よりさつまる町、薩摩川内市、出水市、阿久根市、伊佐市の障害者入所施設の現状についてご紹介頂きました。入所対象や看取りの現状についてもご紹介頂きました。また、さつまるネット研修会、あんしんカプセルの推進、在宅医療多職種意見交換会等について協議して頂きました。

令和元年度第1回薩摩郡医師会在宅医療推進 事業運営委員会(9/9)



令和元年度活動実績、上半期決算(見込み)、在宅医療連携シート活用状況、住民向け研修会、各種会議等について報告。協議事項では、在宅医療連携シートをあんしん医療連携シートと名称を変更し、外来通院中の患者さまにも活用して頂く事と決定いたしました。令和2年度活動計画(案)、令和2年度予算計画(案)は承認されました。